

令和5年度 学校評価アンケートの結果について

1 アンケート結果の考察における着眼の基準

評価段階は4段階に設定する。結果、考察を進める上で、A・Bの2段階を肯定的評価、C・Dの2段階の評価を否定的評価とする。

2 アンケート結果の考察におけるポイント

1) 原則として、肯定的評価の割合が9割以上であれば、評価が高いと押さえる。【観点1】

2) 原則として、肯定的評価の割合が8割未満であれば、評価が低いと押さえる。【観点2】

※1 「自由記述」については部や学部等で検討することはしないが、アンケートに挙げていただいた意図をくみ取り尊重し、参考とする。

※2 高等部生徒のアンケート結果については、参考とする。

3 アンケート結果のまとめ

＜学校評価アンケート回収率＞

項目	人数	回収率	実施期間
学校評価アンケート（高等部生徒） ※Googleフォームで実施	25 / 31	80.6 %	10/30～11/10
学校評価アンケート（保護者） ※紙面で実施	小 16 / 17	94.1 %	10/30～11/10
	中 4 / 4	100 %	
	高 26 / 31	83.8 %	
	計 46 / 52	88.4 %	

(1) 高等部生徒アンケートについて

※高等部生徒のアンケートは参考とする。

観点別	観点の内容	該当項目
観点1	肯定的評価の割合が9割以上であれば、評価が高いと押さえる。	1～8までの項目
観点2	肯定的評価の割合が8割未満であれば、評価が低いと押さえる。	なし

〈補足〉肯定的な評価が95%を超えていた項目

項目 2 タブレット端末やICT機器を授業や学習生活の場面で活用した際、便利だと感じたり、学習内容を理解したりすることに役立っていると思いますか。

項目 3 学校では、日常での挨拶の大切さを教えてください。

項目 4 学校や学校以外で地震や火災などが起こった場合、どうすればよいか教えてください。

項目 6 iPadを正しく扱ったり、基本的な操作をしたりすることができますか。

項目 8 学校の施設は使いやすいですか。

1) 考察

① 1項目から8項目まで全ての項目において、肯定的な評価が9割を超えており、その他2項目においても8割を超える肯定的な評価となっていることから、多くの生徒が充実した学校生活を送っていることがうかがえる。

② 気を付けたい項目として、9の項目においては肯定的評価が88%であり、10の項目において

は肯定的評価が84%であった。8割を越えてはいるものの、12～16%の生徒が自分の悩みを十分に聞いてもらえていないと感じたり、学校生活の楽しさを十分に味わえていなかったりしていることがうかがえる。

(2) 保護者アンケートについて

観点別	観点の内容	該当項目	検討部
観点1	肯定的評価の割合が9割以上であれば、評価が高いと押さえる。	1～11の全ての項目	
観点2	肯定的評価の割合が8割未満であれば、評価が低いと押さえる。	なし	

〈補足〉肯定的な評価が95%を超えていた項目

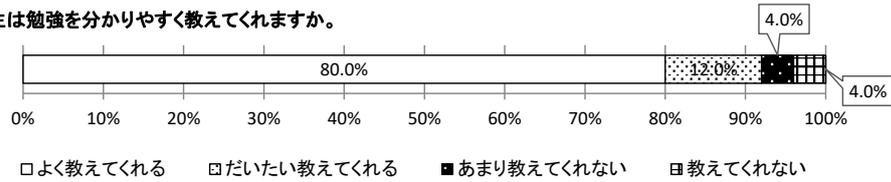
- 項目 1 家の手伝いや自分の仕事を進んで行うような取組が見られた。(中)
卒業後の生活につながる学習が行われている。(高)
- 項目 2 お子さんの進路に関する学習や情報機器を活用した学習が行われている。
- 項目 4 挨拶や身だしなみについて、児童生徒に指導されている。
- 項目 5 災害時の対応について、児童生徒や保護者に行動マニュアルが知らされている。
- 項目 6 個別面談、進路相談、進路だより等を通して進路に関する情報提供がされている。
- 項目 7 学校webサイトは、個人情報に配慮した適切な情報発信がなされている。
- 項目 8 保健だよりを通して、感染症予防や健康について意識することができている。
- 項目 9 お子さんの食に関する課題とそれに対する指導の方針、対応の仕方について、担任と共通理解することができている。
- 項目 10 学校の施設・設備は児童生徒が安心して生活できるよう整備されている。
- 項目 11 学校は、いじめ未然防止及び早期発見、早期対応に努め、安心して生活できる教育環境づくりに取り組んでいる。

1) 考察

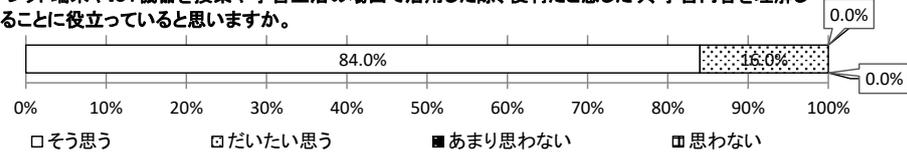
- ① 全11項目中全ての項目において肯定的な評価が9割以上となった。以下の学校の取組がおおむね評価されていると捉える。
- ・ 学習場面の工夫と個に応じた指導
 - ・ 自立と社会参加に向けた学習指導
 - ・ 生活に汎化することを意図した教育課程の編成と学習指導
 - ・ 自ら学び、考えようとする態度を育てる指導の工夫
 - ・ 挨拶など基本的な生活習慣の確立に向けた指導
 - ・ 情報活用能力を育む学習活動の工夫
 - ・ 災害時の対応
 - ・ 進路に関する情報発信
 - ・ 健康に関する指導と啓もう
 - ・ 食に関する理解を深めるための情報提供
 - ・ 施設・設備の整備
 - ・ いじめ防止をはじめ、生徒指導上の問題に対する取組

令和5年度 学校評価アンケート結果(高等部生徒)

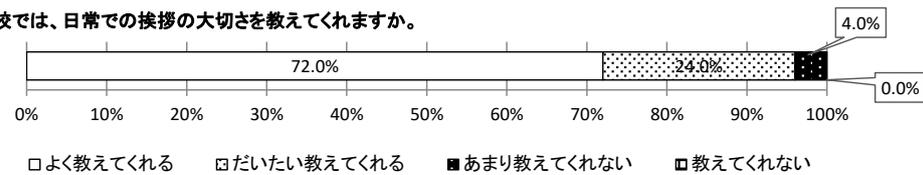
1 先生は勉強を分かりやすく教えてくださいますか。



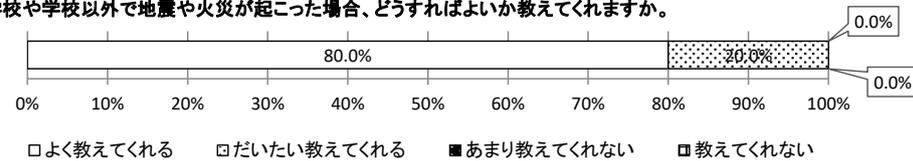
2 タブレット端末やICT機器を授業や学習生活の場面で活用した際、便利だと感じたり、学習内容を理解したりすることに役立っていると思いますか。



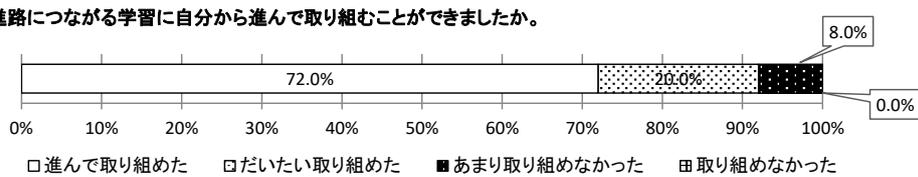
3 学校では、日常での挨拶の大切さを教えてくださいますか。



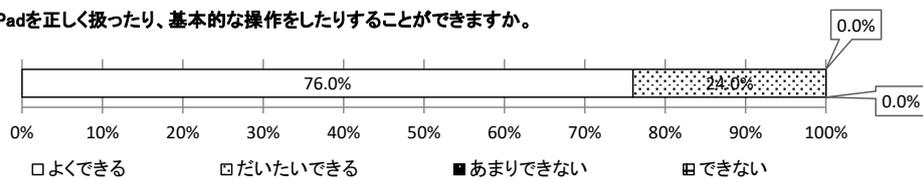
4 学校や学校以外で地震や火災が起こった場合、どうすればよいか教えてくださいますか。



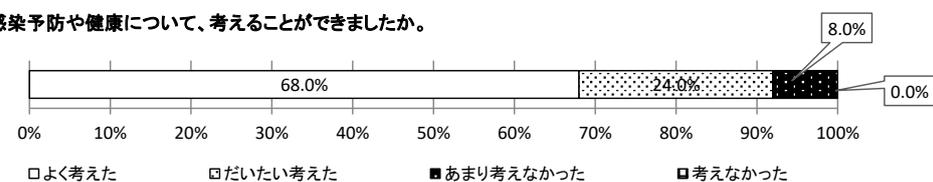
5 進路につながる学習に自分から進んで取り組むことができましたか。



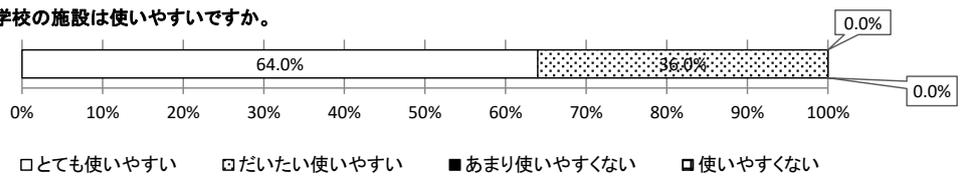
6 iPadを正しく扱ったり、基本的な操作をしたりすることができますか。



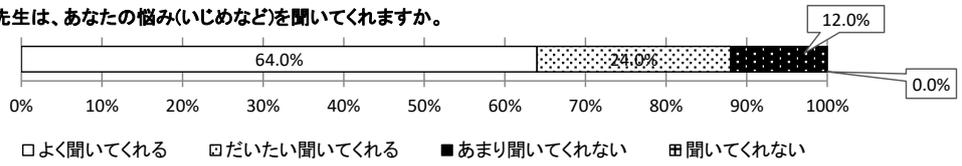
7 感染予防や健康について、考えることができましたか。



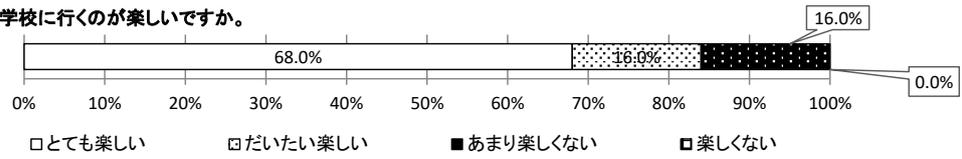
8 学校の施設は使いやすいですか。



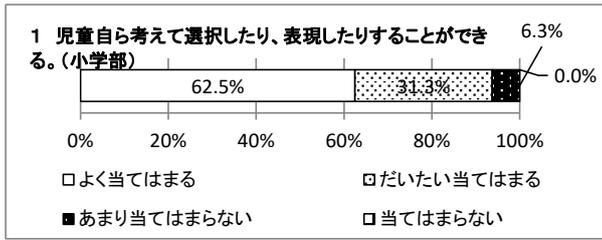
9 先生は、あなたの悩み(いじめなど)を聞いてくれますか。



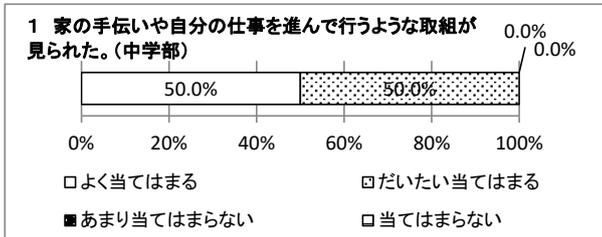
10 学校に行くのが楽しいですか。



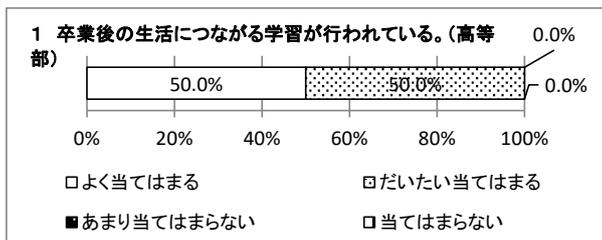
令和5年度 学校評価アンケート結果(保護者)



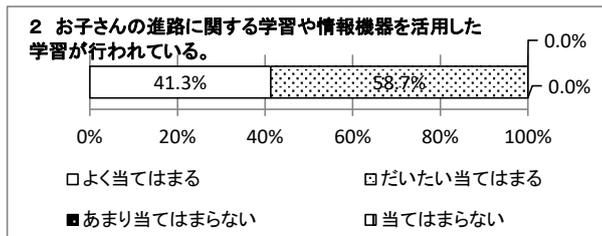
自由記述等(◎良い点 ●改善点 △その他)



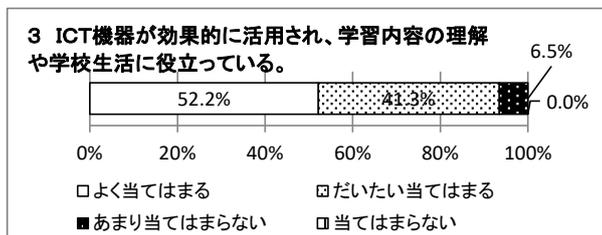
自由記述等(◎良い点 ●改善点 △その他)



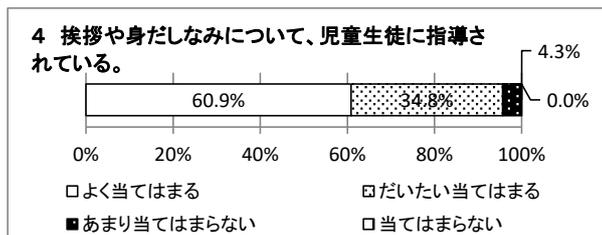
自由記述等(◎良い点 ●改善点 △その他)



自由記述等(◎良い点 ●改善点 △その他)

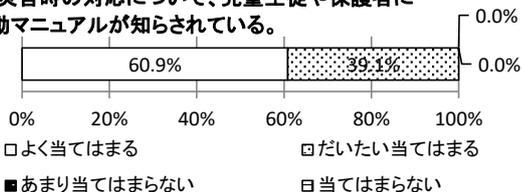


自由記述等(◎良い点 ●改善点 △その他)



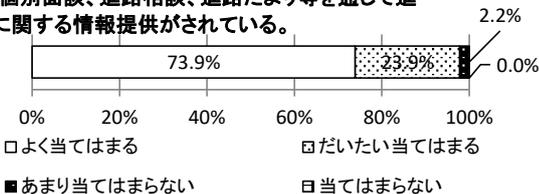
自由記述等(◎良い点 ●改善点 △その他)

5 災害時の対応について、児童生徒や保護者に行動マニュアルが知らされている。



自由記述等(◎良い点 ●改善点 △その他)

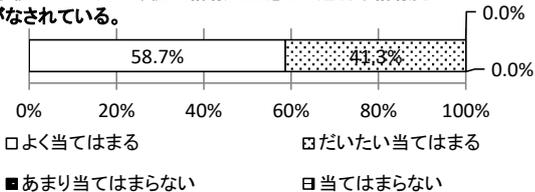
6 個別面談、進路相談、進路だより等を通して進路に関する情報提供がされている。



自由記述等(◎良い点 ●改善点 △その他)

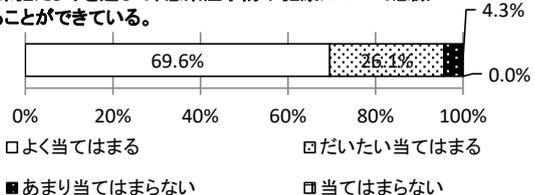
●進路を決める時のサポートをもっと手助けしてほしい。

7 学校webサイトは、個人情報に配慮した適切な情報発信がなされている。



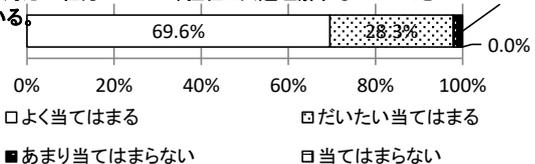
自由記述等(◎良い点 ●改善点 △その他)

8 保健だよりを通して、感染症予防や健康について意識することができている。



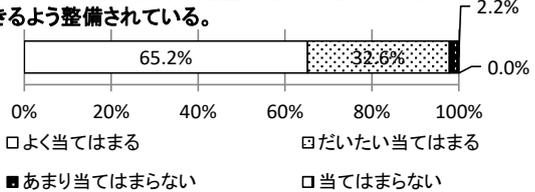
自由記述等(◎良い点 ●改善点 △その他)

9 お子さんの食に関する課題とそれに対する指導の方針、対応の仕方について、担任と共通理解することができている。



自由記述等(◎良い点 ●改善点 △その他)

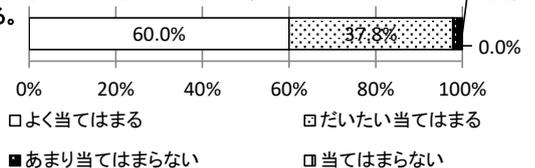
10 学校の施設・設備は児童生徒が安心して生活できるよう整備されている。



自由記述等(◎良い点 ●改善点 △その他)

●児童用、職員用玄関に階段があり、高校の玄関は多くがバリアフリー化となっている。なぜ支援学校はバリアフリーではないのでしょうか。

11 学校は、いじめ未然防止及び早期発見、早期対応に努め、安心して生活できる教育環境づくりに取り組んでいる。



自由記述等(◎良い点 ●改善点 △その他)